

評価対象年度	平成 30 年度
1次評価日（主幹等）	31年 3月 31日
2次評価日（課長等）	31年 3月 31日

事務事業評価表（一般事業）

1 事業名	自然環境保全事業	コード	72101
-------	----------	-----	-------

2 担当部課	部等 市民環境部	課等 市民環境課	作成者 小口 智徳
--------	----------	----------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち		
		政 策	環境保全の推進	施 策	自然環境の保全
		予算科目	自然環境保全事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
事業の概要 （簡潔に）	良好な自然環境を維持するため、里山の保全や水辺環境整備等を行い、水生生物や動植物が生息できる環境の維持とふれあいの機会の確保を図り、あらゆる市民が継続的な活動に取り組めるように推進する。		
目的	対象者	市民	
	意 図	良好な自然環境の維持と環境教育の推進を図る。	

5 事業の実施内容		*30年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容	
<p>○こどもエコクラブにおいて、小学校4年生から6年生、また、1年生から3年生の保護者同伴の児童に対して、「野鳥観察会」、「森を学ぼう」、「市内一斉気温測定」、「水生生物観察会」、「アカウミガメ放流※」、「土の中の生物観察会」「環境にやさしいクッキング」、などを実施し、環境教育を行った。新企画の効果もあり参加者が大幅増となった。 ※はH30新企画</p> <p>○諏訪湖の浄化推進のため、7月14日（土）に、150人が参加し、昨年度に引き続き、8.0tのヒシを除去した。</p>			
前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・新企画導入により岡谷こどもエコクラブ参加者が増となった。 ・ヒシの大量繁茂への対応 		

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	28年度	29年度	30年度	31年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	こどもエコクラブ登録数			単位	団体
	実績値	4	3	3	
	*指標の説明				
② 成果指標（指標名）	こどもエコクラブ延べ参加者数			単位	人
	目標値	300	300	300	300
	実績値	208	324	384	
	達成度	69.3%	108.0%	128.0%	
	*指標の説明				
*目標値の設定方法の説明					

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	327,409	375,627	386,701	421,000
経常経費	327,409	349,587	335,201	45,000
臨時的経費	0	26,040	51,500	376,000
* 臨時的経費の説明				
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
② 人件費	3,600,000	3,600,000	3,600,000	3,600,000
正規職員の人数(人)	0.45	0.45	0.45	0.45
③ 合計コスト(①+②)	3,927,409	3,975,627	3,986,701	4,021,000
前年度比		101.2%	100.3%	100.9%
財源	3,927,409	3,949,587	3,935,201	3,981,000
一般財源				
内訳		26,040	51,500	40,000
特定財源				
* 特定財源の説明 岡谷子どもエコクラブ昼食代実費徴収				
④ 活動一単位あたりコスト	981,852	1,316,529	1,311,734	
前年度比		134.1%	99.6%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
諏訪湖浄化対策連絡協議会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	141,810	141,631	141,130	141,810
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	141,810	141,631	141,130	141,810
	割合	43.31%	37.71%	36.50%	33.68%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 118.5%	1
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 128.0%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 岡谷子どもエコクラブへの参加者は増加したが、塾やクラブ活動などに通う児童も増加していることから、子どもエコクラブに登録する団体が減少している。
	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 引き続き、小学校や地区の育成会へ呼びかけをするが、団体数を増やすことより各団体への参加人数を増やすということが重要になってくるのではないかと考える。 市が事務局を務める岡谷子どもエコクラブにあっては、参加したいと思えるような企画の立案、子どもエコクラブについては、登録することのメリットの周知などが重要になってくる。
改善方法	
改善開始時期	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---